

部局名

産学・地域連携センター地域デザイン講座

担当：特別教授 三上博幸



テーマ

【大学開放事業活用しての小学生公開講座の開催】 小学生への地球環境問題、SDG s の理解推進

◆特色ある取組

『世界を視野に地域からはじめよう』の大学スローガンに従い、産学・地域連携センター地域デザイン講座では、大学祭開催のタイミングと合わせて、大学開放事業として小学生向けの公開講座を5年連続で開催している。人間活動によるCO2の輩出が温暖化現象を招き、異常気象での山火事、水害、不作、海面上昇による命の危険等の災害を引き起こす事をわかりやすく解説して、幼少期から地球環境問題に関心をもってもらうことを開催目的としている。問題解説だけでなく、その対策として世界の約束SDG s が存在し世界中がその達成に向け活動していることも添えながら、省エネ機器としてのLED活用、森林を守り計画的に木材を利用することの重要性を伝えている。学びと共に、対策につながるLEDや木材触れる事例として、手作りでLEDスタンドや木製はし製作を行い記憶に残る教室を開催している。5年間の開催で、多くの小学生が学び、地球の未来のためには世界単位で環境改善、保護の意識を高める必要を認識してくれている。大学を大学生だけの学びの場とするのではなく、社会人、高中小学生を含めた地域の知の発信拠点とするこの活動を継続していく。

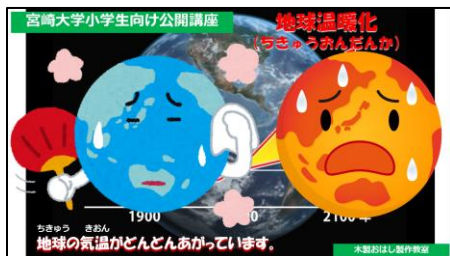
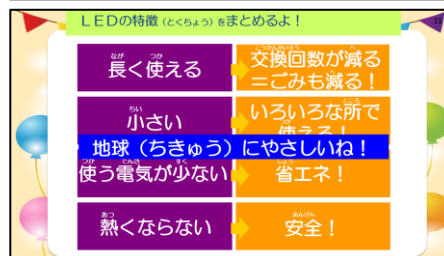
◆期待される成果・効果

- ①小学生層への地球環境問題、SDG s の重要性の理解浸透
- ②同伴する保護者の改めでの認識（リカレント教育の場）
- ③特色ある宮崎大学での活動で将来の宮崎大学ファンの育成

◆テキストの作成

小学生層に向けた分かりやすいテキスト、ビデオを活用して講座終了時には、SDG s との関連を説明する。

◆開催写真（2021年度）



◆参考URL：地域デザイン講座HP  
URL：http://www.miyazaki-u.ac.jp/rdc/